



中学生職場体験の様子

Index

- 2 **特集** 心房細動におけるパルスフィールドアブレーション
～新しい治療法の概要とその利点～
- 4 ドクター紹介
- 5 口腔外科のご紹介
- 6 患者さん満足度アンケート結果報告
- 8 お薬手帳について
- 海南健康大学のご案内／職員募集のお知らせ



ホームページはこちら



特集

心房細動における パルスフィールド

心房細動は、心臓のリズムが乱れる不整脈の一種であり、心房が不規則に収縮することで発生します。この状態は心拍数の急激な上昇を引き起こすことがあり、血栓形成のリスクを高め、脳卒中やその他の合併症につながる可能性があります。

従来の治療法には薬物療法やカテーテルアブレーションが含まれていましたが、近年注目を集めている技術の一つにパルスフィールドアブレーション (Pulse Field Ablation; PFA) があります。

パルスフィールド アブレーション(PFA)とは

PFAは、心臓の異常な電氣的信号を遮断するために電磁場を用いる治療法です。この技術は、従来の熱(ラジオ波)や冷却(凍結)によるアブレーションとは異なり、電気パルスによって心臓組織を選択的に治療します。PFAは、周囲の健康な組織へのダメージを最小限に抑えることができる高度にターゲット化された治療方法です。



提供: 日本メドトロニック株式会社

新しい治療法の概要とその利点

アブレーション

技術の仕組み

PFAでは、高電圧の電気パルスを心臓内に送り、心房細動の原因となる肺静脈周囲の心筋（肺静脈心筋スリーブ）の細胞を壊します。電気パルスは極めて短時間で発生し、高精度で特定の心臓部位に作用するため、周囲の重要な組織への影響を最小限に抑えることが可能です。



臨床工学技士、看護師のチームで治療にあたっています

● 従来のアブレーションとの違い ●

従来のアブレーション技術（ラジオ波や凍結技術）は、熱や冷却によって組織を破壊しますが、これらは食道、横隔神経など周囲の組織にダメージを与えるリスクがありました。一方、PFAは電磁場を利用して心臓の異常な組織を選択的にターゲットとするため、食道や他の重要な臓器への損傷リスクが低減され、従来の技術より安全性が高いと考えられています。

臨床試験と実績

PFAは、これまでの臨床試験で成功率が高く、合併症の発生率が低いことが報告されており、その有効性と安全性が確認されています。発作性心房細動、持続性心房細動いずれのタイプにおいても有望な治療成績が示されています。



患者さんへの利点

PFAの導入によって、心房細動治療は大きく進化しています。患者さんにとって、以下のようなメリットがあります。

- 短い治療時間**: 従来技術に比べ、治療手順が迅速に完了します。
- 少ない副作用**: 周囲の組織への影響を最小限に抑えるため、安全性が向上します。
- 早い回復**: 治療後の回復期間が短く、日常生活への復帰が早まります。

当院での治療実績

当院では令和7年2月よりPFAを導入しました。心房細動治療における高い安全性と有効性から、特別な制限がない限り、PFAで治療をおこなう方針としています。

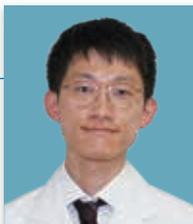
また、これまで当院の不整脈専門医（日本不整脈心電学会認定資格）は1名（横井医師）のみでしたが、令和7年度より新たに1名（岩脇医師）が加わり、体制を強化いたしました。今後も、さらに充実した診療を地域の皆さまに提供できるよう努めてまいります。



循環器内科医師一同

ドクター紹介

Introduction of new doctors



脳神経外科
すずき なおき
鈴木 直輝

7月採用

- 前歴**
刈谷豊田総合病院
- 趣味**
トレイルラン、マラソン、料理
- 抱負**
安心して任せていただける医師を目指し、丁寧な診療を心がけます。



口腔外科の ご紹介



今回は、口腔外科についてご紹介いたします。

●口腔外科とは・・・？

口腔外科は、口腔(口の中)、顎、顔面およびその周辺に生じる疾患の治療を担当する診療科です。この領域には、先天的(生まれつきの)疾患や歯が原因となる疾患、さらに外傷による顎や顔面の軟組織(筋肉や皮膚など)の損傷や骨折、歯牙の脱臼や損傷、腫瘍性の病変までさまざまな疾患が含まれます。

●当院の口腔外科について

当科ではこれらの疾患に対する外科的治療のみならず、口腔粘膜疾患や神経疾患といった内科的治療も対象に含まれています。さらに口腔外科は歯科の一分野として、地域の歯科医院では対応が難しい症例や有病者への歯科的治療対応のほか、病院内に設置されている強みを活かし、歯科と医科をつなぐ橋渡しの役割も担っています。

近年医科領域では、治療法や薬剤の進歩による恩恵を多くの患者さんが受けている一方で、口腔内に生じる副作用などにより治療の継続が制限されたり、口腔内の状態が医科治療の合併症リスクを高めたりすることがしばしば生じています。当科では、患者さんがより円滑に医科治療を継続して受けていただけるように関連する他科との密な連携のもと、口腔内のトラブル予防や治療にも力を入れております。

●診療体制について

口腔外科は平成21年4月より常勤体制となり、現在は常勤医3名(うち日本口腔外科学会専門医・指導医1名、日本がん治療学会認定医1名、日本口腔外科学会認定医1名)と歯科衛生士4名で診療にあたっております。

●受診に関すること

口腔外科では、平日午前中に初診および再診の一般診療を、午後には局所麻酔で対応可能な小手術を完全予約制で行っております。初診の際は、地域の歯科医院または医院・病院診療科を通じて、当院地域医療連携センターにてご予約いただき、あわせて診療情報提供書(紹介状)および定期内服している薬剤がわかる物(お薬手帳など)を持参のうえ、ご来院くださいますようお願い申し上げます。

今後とも地域の皆さまに安心して受診いただけるように当科スタッフ一同努力してまいりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

口腔外科代表部長 西口 浩明

令和6年度

患者さん満足度アンケート

結果報告

当院では、患者さんおよびご家族の方々に満足いただける医療サービスを提供するため、「患者さん満足度アンケート」を毎年実施しております。

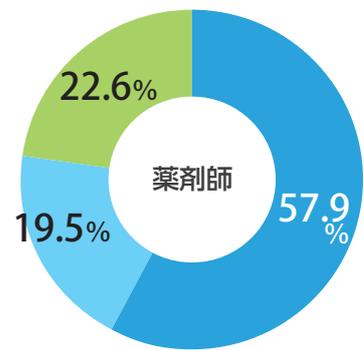
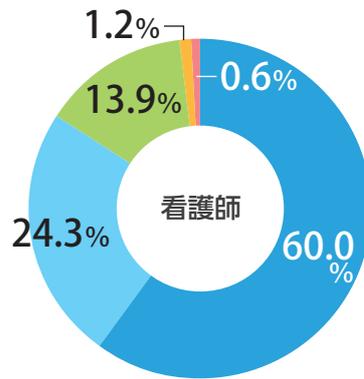
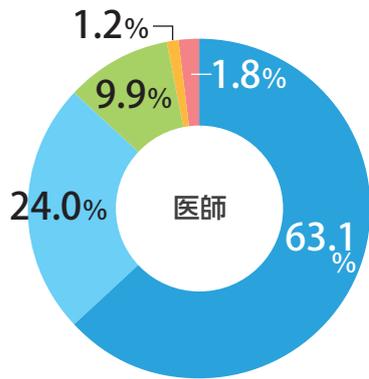
今回のアンケートにご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

入院部門

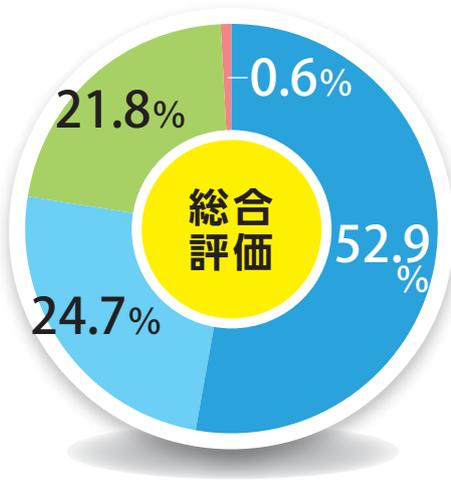
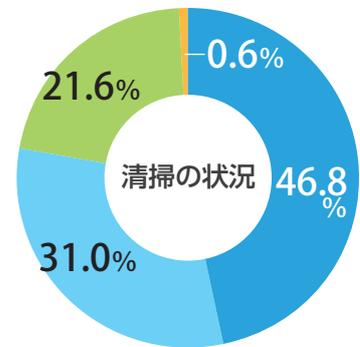
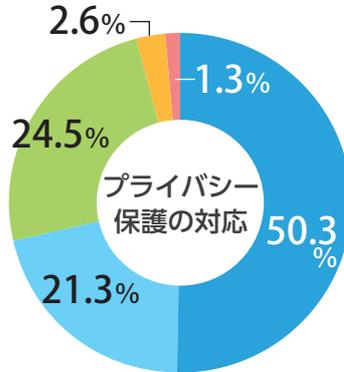
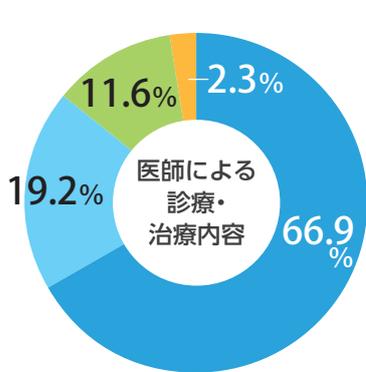
実施期間：令和6年9月17日～24日

回答数：174名

● 接遇・対応に関すること



● 医療サービス等に関すること



● 入院部門では、接遇に関して概ねどの職種も満足の評価をいただきました。その他の項目についても概ね例年通りの結果となりました。

評価基準 ※利用なし・無回答は除いた割合

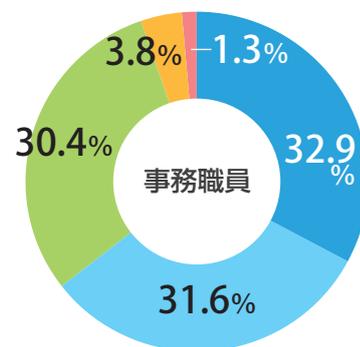
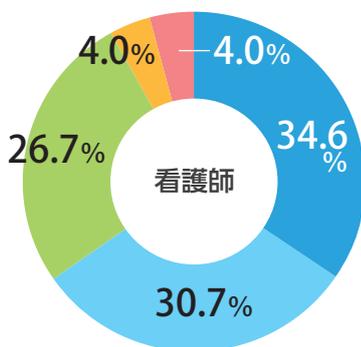
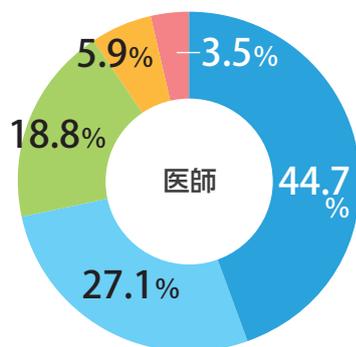


詳細な結果はこちらからご覧ください

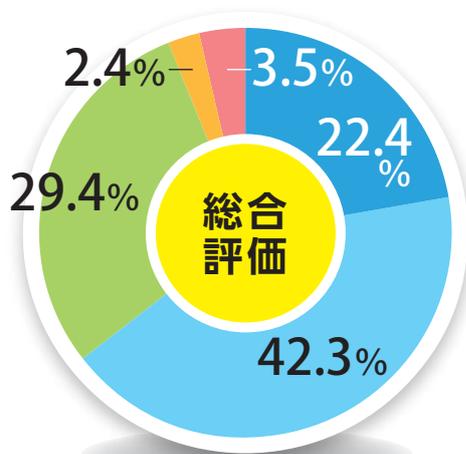
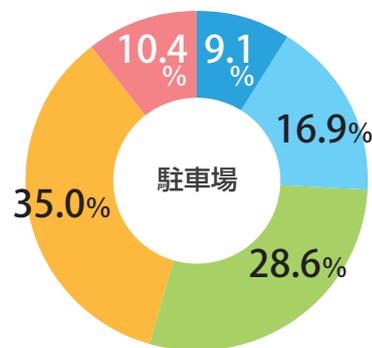
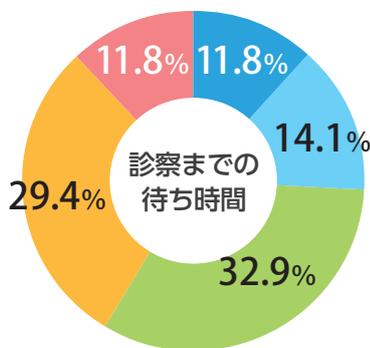
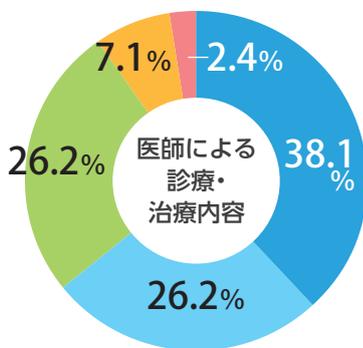
外来部門

実施期間：令和6年12月24日～26日
回答数：85名

●接遇・対応に関すること



●医療サービス等に関すること



●外来部門では、待ち時間と駐車場に対して「不満・やや不満」の声を多くいただきました。昨年も同項目に不満が集中していることから、当院の課題と考えます。

お薬手帳 について

皆さん、「お薬手帳」
を活用していますか？

「持っているけれど使っていない」「薬局で毎回新しい手帳をもらい、どんどん増えてしまう…」という方もいらっしゃるかもしれません。しかし、お薬手帳は、皆さんの健康を守るための“心強い味方”であり、とても大切な役割を担っていることを知っていただきたいです。

お薬手帳には、これまでに処方された薬の名前、服用量、服用時期などの情報が記録されています。この記録があることで、複数の医療機関を受診していても、薬の重複や飲み合わせのトラブルを未然に防ぐことができます。たとえば、同じ成分の薬が重ねて処方される「重複投与」や、相性の悪い薬と一緒に処方される「相互作用」のリスクを、お薬手帳が防いでくれます。

また、お薬手帳が特に力を発揮するのは、救急搬送時や災害時です。令和6年に発生した能登半島地震では、電子カルテが使用できない状

況に陥り、避難先で「いつも飲んでいる薬がわからない」という声が多く寄せられ、薬の特定に時間がかかりました。そんな中、お薬手帳を持っていた方は、薬の再開や治療がスムーズに行われたという報告があります。

さらに、救急車で搬送されて、ご本人が話せない状況でも、お薬手帳を見れば医療者が正確に薬の情報を把握でき、迅速かつ安全な治療が可能になります。

お薬手帳は、紙の手帳でもスマートフォンのアプリでも構いません。重要なのは、情報を一つにまとめて、常に持ち歩くことです。診察や薬局に行くときだけでなく、旅行や外出の際にも一緒に持っておくと安心です。

薬剤師は、お薬手帳を通じて、皆さんが薬を安全に使用できているかを確認し、医師と連携して治療を支えています。

「ただの記録帳」と思わずに、お薬手帳を“あなただけの健康ノート”として、ぜひご活用ください。



『海南健康大学』のご案内

海南健康大学はどなたでも自由に受講できます。
予約も事前申込みも不要ですので、お気軽にご参加ください。

開講予定 場所:教育研修棟3階 講堂1 2025年度

テーマ:健康を支える栄養
～からだところの健康を目指して～

日時:令和7年7月16日(水) 14:00～15:00

講師:管理栄養士 陳 真規

テーマ:あなたも慢性腎臓病かもしれません
～5人に1人が罹患している腎臓病のはなし～

日時:令和7年9月17日(水) 14:00～15:00

講師:腎臓内科代表部長 鈴木 聡

※8月は休講です。

職員募集のお知らせ

- 看護師 ●助産師
- ヘルパー(パート)
- ケアマネジャー(パート)
- 事務員(準職員・パート)
- 調理師・栄養士(正職員)



詳細は当院ホームページ
をご覧ください。
不明な点は、総務課まで
お気軽にお問い合わせく
ださい。



看護部申込
QRコードはこちら



看護部以外申込
QRコードはこちら

愛知県より紹介受診重点医療機関に指定されています

紹介受診重点医療機関は、かかりつけ医からの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいているため、初診の方には紹介状の持参をお願いいたします。最新の外来担当医表は右記QRコードよりご覧ください。



▲外来担当医表

理 念

私たちは医の倫理をしっかりと見据え、質の高い、安全で安心な医療提供をとおして、地域を守り、地域から信頼される病院を築きます